

平成 30 年 10 月 9 日
日本船主協会 海務部

船を知ろうよ！～徳島小松島港開港 70 年記念イベント～を開催

日本船主協会では、平成 20 年 7 月に人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

今般、平成 30 年 9 月 11 日(火)～13 日(木)、高専フェアの一環として徳島県小松島港において実施された「船を知ろうよ！～徳島小松島港開港 70 年記念イベント～」を、当協会は広報活動の一環として共催しました。

国立弓削商船高等専門学校、徳島県、および当協会の 3 団体の共催により当イベントを実施しました。小松島港周辺海域での弓削丸体験航海や、小松島港岸壁でロープワーク体験等を行い、3 日間を通して徳島県の小学校 8 校の 1～6 年生約 450 名が参加しました。

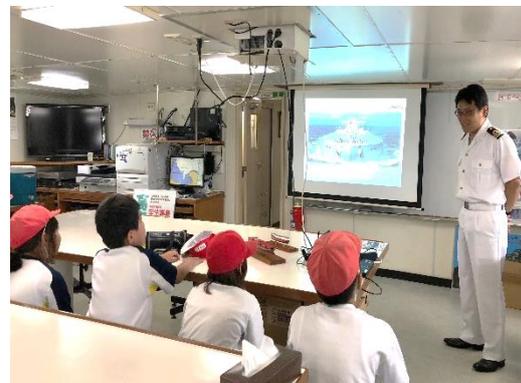
当協会は、弓削丸体験航海中に船内で、船の役割や大切さ、海技者の仕事についての講演を行いました。「日本の船の輸送割合の大きさ」や「船の大きさ」について伝えると生徒からは驚きの声があがっていました。初めて乗船したという生徒も多くいて、楽しそうな様子が印象的でした。

質問の時間には、「どうして船乗りになろうと思ったのか」、「これまで船で行った国はどこか」、「一度航海に出るとどれくらいの期間船に乗るのか」、「船での食事はどのようなものか」など様々な質問が飛び出し、淀川課長代理（一等航海士）がスライドも使いながらこれらに答えました。将来船で働いてみたいという生徒もいて、この様子は NHK 徳島放送のニュース番組でも取り上げられました。練習船弓削丸に乗船するという貴重な機会を通して、生徒は船や海技者という職業を身近に感じることができました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



今回講演を行った弓削丸



講演をする淀川課長代理